

## 議員と気軽に語る会 実施報告書⑩

開催日時	令和6年6月27日(木) 19時30分~20時45分
開催場所	アスパル
対象集落	牧野・鍛冶屋・間子・岸上・天田
参加者数	12人
出席議員	班長(吉田政義) 司会(内橋志郎) 記録(清水俊博) (藤原清勝) (大山由郎) (廣畑幸子) (橋尾哲夫) (門脇教蔵) (笹倉政芳) (門脇保文) (市位裕文) (日原茂樹)
意見発表	(大山由郎) (清水俊博) (藤原清勝)
意見まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の出生数は37人。どのような学年編成を組んでの統合中学校なのか。通学バスの具体策は。</li> <li>・中学校に続き小学校の統廃合が心配。</li> <li>・通学、学力、学級運営など少子化をもっと真剣に捉えよ。</li> <li>・高校通学への補償が必要では。社高校は実施している。</li> <li>・こども医療費など小野市、明石市は着々と実施している。</li> <li>・消滅可能性自治体を真剣に考え人口増加を急げ。</li> <li>・消防団も構成できない。ボランティアばかりでかわいそうだ。</li> <li>・働く場所や企業誘致のための工業団地が必要。</li> <li>・企業誘致を急げ。加西市、加東市、福崎町等は着々と進め、人口も下げ止まりしている。多可町もより進めるべきではないか。</li> <li>・求人はあるが安定した公務員並の給料を。車で30分出ないと仕事ゼロ。</li> <li>・安定した職の確保・収入の確保・生きがいの確保が急務。</li> <li>・中国道(滝野社インター)へ繋ぐ道路インフラが必要。今は不便。</li> <li>・考え方を変えベッドタウン構想も良いのでは。</li> <li>・インフラ整備を急げ。コンパクト自治体へ新都市計画で整備せよ。</li> <li>・地場産業を育てよ。山田錦発祥の地だけでは生きていけない。</li> <li>・ブランド「日本酒」を育成し多可町へ飲み、買いに行こうとする動きを。</li> <li>・水道代が高い。</li> <li>・議員も「会派」をつくり提案すれば良い。</li> </ul>

令和6年7月1日

多可町議会議長 日原茂樹 様

報告者 清水俊博